

## 平成 30 年度第 1 回「性教育の手引」作成委員会議事要旨

- 1 日時 平成 30 年 8 月 29 日（水） 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで
- 2 場所 東京都庁第二本庁舎 10 階 210 会議室
- 3 議事概要

### （1）東京都教育委員会挨拶 東京都教育庁指導推進担当部長 藤井 大輔

- ・本委員会は、学習指導要領の改訂の機会を捉え、現代的な課題に対応した性教育の充実を図るため昨年度設置した。学校における性教育は、児童、生徒の人格の完成を目指す人間教育の一環として、生命の尊重、人格の尊重、人権の尊重などの根底を貫く人間尊重の精神に基づいて行われている。今年度は、特に実践編の指導事例の作成を中心に取り組んでいただくことになっている。
- ・性教育については、学習指導要領に示された内容を全ての児童・生徒に指導した上で、性情報の氾濫等の現代的な課題を踏まえ、児童・生徒の状況に応じて保護者の理解を得ながら指導するなど、丁寧な対応が重要である。全ての教員が共通認識を図り、子供たちが性に関して正しく理解し、適切に行動できるように性教育の充実に取り組んでいきたい。

### （2）石川委員長挨拶

- ・性教育は、人格の完成を目指して行われるものである。この本質が変わるということはない。しかし、時代に合わせた手引を示していくことが必要だと考えている。学校にとってより分かりやすく活用しやすい手引を今年度中に作成・配布し、各学校で性教育の適切な実施を支援していきたい。

### （3）説明

#### ○性教育（中学校）の実施状況について

- ・8月3日に各区市町村教育委員会に依頼し、8月23日に回収をした。集計、分析した内容は次回の作成委員会で検討する。

#### ○「性教育の手引」作成委員会の進め方について

- ・今年度の作成委員会は、ワーキンググループも毎回参加する。ワーキンググループの月例会は次回の作成委員会までの間に実施し、実践編の作成に取り組む。実践編は各校種の指導事例を中心に作成する予定である。

#### ○「性教育の手引」基礎編等について

- ・学習指導要領に示されていない内容についての指導と中学校における性教育の実施状況調査結果を掲載することも検討する。

#### ○「性教育の手引」実践編の各校種の進捗状況等について

##### ・小学校部会

4 学年の保健領域、5・6 学年の保健領域、5 学年の特別活動「宿泊行事前の指導」、5・6 学年の「SNS に関すること」等について、指導事例として検討し作成している。

##### ・中学校部会

性教育は、集団指導と個別指導の両方が必要である。

##### ・高等学校部会

高校を卒業してしまうと正確な知識を客観的に得られる機会が減少するため、学校の実態に合った指導事例を検討し、作成している。

- ・特別支援学校部会

児童・生徒たちは障害の幅が大変広いため、知的障害と準ずる教育課程の二つの学習内容を検討している。「発達段階に応じること」と「対人関係への対応」は非常に大切なので、この二つをキーワードに検討を行い、指導事例を作成している。

#### (4) 協議

##### ○実践編の作成の方向性について

- ・性情報への対処の仕方については、学校で正しい知識を指導することだけでなく、多くの情報の中から子供たち自身が適切に判断し、行動を選択できる力を身に付けていくということがとても大切である。

##### ○性感染症について

- ・新学習指導要領でも小、中、高等学校全ての校種において、小学校は体育、中学校及び高等学校は保健体育の中で位置付けられているため、各校種が実践事例に取り入れ、発達段階に応じた指導事例を掲載した方がよい。

##### ○保護者への啓発について

- ・家庭との連携について、保護者に対して「性教育の手引」について伝えていくことが大切である。

##### ○性教育の視点について

- ・今回、生物的側面、心理的側面、社会的側面、生命尊重の四つの視点が出てきたというのは非常に先進的であり、合理的である。

##### ○外部講師活用の有効性について

- ・産婦人科医等を外部講師として派遣することは有効である。専門性の高い学校医や泌尿器科の医師、産婦人科の医師によって、正しい知識を発達段階に応じて伝えることができる。
- ・専門家が保護者に正しい知識を教える機会を作ることは、家庭の性教育を充実させることにつながる。

##### ○外部講師活用に関わる配慮事項について

- ・教科で指導するのか、特別活動で指導するのか、学校経営計画や性に関する指導計画に基づいて、取り上げ方を検討する。
- ・保護者に授業を積極的に公開して、学習内容の理解を図り、子供と保護者が共通の認識に立つことが大切である。

## 4 出席者

		所属・職	名前	出席
検討委員会		全国性教育研究団体連絡協議会前理事長・神戸大学名誉教授	石川 哲也<委員長>	○
		国立成育医療研究センター理事長	五十嵐 隆	○
		東京都医師会学校医委員会副委員長	山田 正興	○
		北区立なでしこ小学校校長	大田 裕子	○
		三鷹市立第六中学校校長	郡 吉範	○
		東京都立晴海総合高等学校校長	庄司 一也	○
		東京都立小金井特別支援学校校長	金子 猛	○
		東京都福祉保健局 健康安全部エイズ・新興感染症担当課長	根岸 潤	○
		東京都青少年・治安対策本部 総合対策部青少年担当課長	堀江 敏彦	○
		東京都教育庁 指導推進担当部長	藤井 大輔<副委員長>	○
		東京都教育庁 都立学校教育部学校健康推進課長	石丸 雄二	○
		東京都教育庁 地域教育支援部歯科保健担当課長	山田 善裕	○
		東京都教育庁 東京都教育相談センター次長	月山 良明	○
		東京都小学校PTA協議会会長	奥村 透	代理○
		東京都公立中学校PTA協議会会長	井門 明洋	代理○
		東京都公立高等学校PTA連合会会長	池本 義信	○
		東京都特別支援学校PTA連合会会長	長田 晋	代理○
ワーキンググループ	小学校	八王子市立館小学校副校長	盛光 万紀	
		練馬区立田柄第二小学校主幹教諭	吉田 光男	○
		八王子市立東浅川小学校主任養護教諭	金子 絢子	○
		府中市立矢崎小学校主任教諭	樋口 玲奈	
		国分寺市立第四小学校指導教諭	東小川 智史	
	中学校	豊島区立西巣鴨中学校副校長	青柳 美由紀	○
		新宿区立新宿西戸山中学校主任教諭	石井 友保	○
		稲城市立稲城第三中学校主任養護教諭	伊藤 康代	○
		町田市立山崎中学校主任教諭	中澤 幸彦	
		葛飾区立亀有中学校主任教諭	米澤絵里子	○
		目黒区立大鳥中学校主任教諭	浅野 雄太	
	高等学校	都立板橋有徳高等学校副校長	松尾 成美	○
		都立千歳丘高等学校主幹教諭	広瀬 菜々子	○
		都立日比谷高等学校主任教諭	木下 理恵	○
		都立忍岡高等学校主任教諭	星 いづみ	
		都立大江戸高等学校主任教諭	葦澤 絵美	○
		都立北豊島工業高等学校教諭	坂本 憲亮	○
		都立江北高等学校主任教諭	稲垣 俊介	○
		東京都立志村学園副校長	佐藤 るり子	○
	特別支援学校	東京都立武蔵台学園副校長	井上 一仁	○
都立多摩桜の丘学園主幹教諭		宇田川 裕之	○	
都立小平特別支援学校主任養護教諭		赤坂 晶子	○	
都立大塚ろう学校主任教諭		長島 理英	○	
都立武蔵台学園主任教諭		三浦 知子	○	